

## 令和3年産米の市町村別「作付の目安」について

令和2年11月11日

宮崎県農業再生協議会

### 1 「作付の目安」提供の基本的方針

平成30年産から、国による米の生産数量目標の配分は廃止されたが、引き続き本県においては、農業者の需要に応じた生産を踏まえた経営判断の参考となるよう、国からの需給見通し等の情報提供を基に、県農業再生協議会から地域農業再生協議会へ主食用米の市町村別「作付の目安」を提示する。

国が定める「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」における米の需給見通しによると、令和3年6月末民間在庫量は207～212万tと予想され、一人当たりの主食用米の消費量トレンドと人口推計から導き出される令和3/4年の需要量が705万tと推計されることから、3年産米の生産の目安は、需給緩和を早期に抑えるために693万tと設定された（令和4年6月末民間在庫量の水準を、令和2年6月末民間在庫量200万tを超えないように設定）。

本県においては、作付実績が「作付の目安」を大きく下回っている現状があることから、作付を抑制しすぎないように、生産の目安である693万tを算出基礎とすることとし、その上で、平成27年産以降、本県への配分として固定されていた、平成27年度配分シェア（≒1.2463%）を用いて本県の令和3年産米の「生産の目安」を86,371tと算出し、本県の年平均収量（496kg）から「作付の目安」を17,414haとした。

### 2 市町村別「作付の目安」提供の基本的方針

市町村別の「作付の目安」算出については、引き続き、考え方が分かりやすく、主食用米の作付に対する生産意欲が反映され、産地拡大にも取り組むことが可能となるよう、前年産の作付実績シェアを用いることとし、本県の「作付の目安」を、九州農政局宮崎県拠点が取りまとめる「令和2年産米等の生産動向」の市町村別作付予定面積（9月末確定値）シェアを用いて算出した。

### 3 農業者への「作付の目安」の提供

農業者に対しては、引き続き地域農業再生協議会が目安の通知を行うこととし、その際は、近年、本県に置いて主食用米の作付が減少し、安定して販売できる数量の下限に迫っていることを考慮し、積極的な作付の維持・拡大を図るため、生産意欲に応じた目安となるよう、前年作付実績シェアを基本として、作付意欲の高い水稻担い手リストの担い手等への重点配分等の調整も検討する。

地域農業再生協議会においては、集荷団体等が需要に応じた生産を十分考慮しながら、生産・販売のビジョンを持って主導的な役割を果たすとともに、行政と一体となって、一層の効率化による作付維持を目指し、農地の集約など地域集落における様々な合意形成を積極的に支援する事に努めることとする。

## 令和3年産主食用米の市町村別「作付の目安」

地域 協議会名	市町村名	作付の目安(ha)
宮崎県		17,414
宮崎中央	宮崎市	2,653
	国富町	463
綾町	綾町	123
日南市	日南市	879
串間市	串間市	743
都城市	都城市	3,067
三股町	三股町	391
小林市	小林市	1,076
高原町	高原町	345
えびの市	えびの市	1,437
西都市	西都市	1,193
西米良村	西米良村	26
高鍋町	高鍋町	329
新富町	新富町	490
木城町	木城町	216
尾鈴地域	川南町	476
	都農町	202
延岡市	延岡市	1,083
日向地域	日向市	509
	門川町	185
	美郷町	487
	諸塚村	57
	椎葉村	74
西臼杵地域	高千穂町	497
	日之影町	200
	五ヶ瀬町	213